

情報労連



NTT労働組合  
コムウェア九州分会

# 2015年コムウェア九州分会 旗開き

2015年コムウェア九州分会旗開き



一月七日(水)大博ビル六階 第四会議室にて、二〇一五年コムウェア九州分会 旗開き」が開催された。旗開きは、権丈分会長の挨拶に続き、内堀部長の乾杯で始まり、最後はビンゴ大会で一位の商品をゲットした、NS部開発担当の下田さんの「団結頑張ろう」で締めくくった。



NTT労組  
コムウェア九州分会

発行責任者  
権丈 雄二

編集責任者  
武藤 和彦

編集担当者  
長嶋 裕樹

来月(二月)は、「労働時間適正化月間」です。適正な労働時間の実現には、あなたの気持ちが重要!

## 「総対話会」開催!!

日時:1月28日(水) ①16:10~ ②18:10~  
場所:大博ビル6階 第4会議室

日時:1月30日(金) ③18:10~  
場所:大博ビル6階 第4会議室



「総対話会」一月三〇日(金) ③一八時一〇分

大博ビル六階 第四会議室で開催されます。

「総対話会」一月二八日(水) ①一六時一〇分

②一八時一〇分

大博ビル六階 第四会議室で開催されます。

# 組織内議員 新年のあいさつ



二〇一五年、新しい年を迎えました。

昨年末の総選挙開票速報を見ながら、二〇一三年夏の参院選、午前四時まで当選確実の報が出るのを信じて待っていたことを改めて思い出していました。再度お預かりした議席の重みと、いつもご支援いただいている皆さまへの感謝の気持ちと初心を忘れることはありません。

総選挙で、一強多弱の議院構成を変えることは叶いませんでした。ただ、どのような立場に立とうとも議会のバランスを考える上で、一強多弱の議院構成より、伯仲した構成の中で議論を戦わせる方が、国民各層の幅広い多様な意見を政策により反映しやすいものと考えます。

衆議院では定数四七五

うち、民主七三。参議院では定数二四二のうち、民主五八。衆院で議席が微増したとはいえ、衆院三分の二超の巨大与党に到底及びません。参院では、自民一四に対し、民主五八ですから議論出来る余地は十分ありますし、自民党単独で参院議席の過半数はありません。だからこそ、衆議院にはない常任委員会委員長ポストが参議院民主党には割り振られており、私は経済産業常任委員長として委員会運営を担っています。もちろん、運営は公正中立の立場ですが、内閣から提出された法案を審議する常任委員会全てにおいて、与党委員長のみでは最初から緊張感が欠如することになってしまいます。皆さまから託された思いを国政に届ける使命を



果たすため、初心と感謝の気持ちを新たに、これからも活動に邁進してまいります。今後とも、私、吉川さおりに対します引き続きのご支援、ご指導を何卒宜しくお願い申し上げます。

二〇一五年一月吉日  
経済産業委員長  
参議院議員  
吉川 さおり



NTT労働組合・持株グループ企業本部(コムウェア九州分会)の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

昨年一年間も、大変温かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。また、突然の解散で十二月十四日に行なわれた衆議院選挙でも、厳しい寒さの中、仲間た

ちに熱いご支援をいただきましたこと、この場をお借りして心から御礼を申し上げます。

総選挙の結果は、民主党にとつて大変厳しいものでありました。あらためて、民主党に対する期待や信頼が未だに回復していないことを痛感しましたし、政治に対する諦めや無関心が広がっていることにも愕然としました。しかし、安倍政権が圧倒的な数の力を得て、今後さらに数年間の継続が確実となった今、ここからがまさに踏ん張りどころ。何としても立て直しを図っていかなくてはなりません。

私自身、昨年の第十七回定期全国大会におきまして、二〇一六年七月に開催予定の第二回参議院議員選挙に、再び組織内候補として挑戦させていただきます。再挑戦させていただきますことをご決定いただき、大変感謝いたします。政治状況が続きますが、情報通信(ICT)の発展を基盤に、国際的な平和と協調の中で、誰

もが安心して働き、暮らしていける社会を実現していくため、これまで以上の努力を続けていく決意です。皆さまには、これから大変なお世話をおかけいたしますが、ぜひとも温かいご支援をいただき、すようお願い申し上げます。また、来たる統一地方選挙においては、自治体議員団および全推薦議員の必勝に向け、私も皆さまと共に力を合わせて全力で戦っていく覚悟です。

最後にありますが、今年一年が、皆さま方にとって幸多き年になりますことを祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

二〇一五年一月吉日  
民主党 参議院議員  
石橋みちひろ



NTT労働組合の皆さまに、新年のごあいさつを申し上げます。日頃より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。二〇一五年一月吉日  
衆議院議員  
田嶋 要